

土木委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和2年11月20日 開会 午前 9時57分 閉会 午前 11時34分
2 会議の場所	議会東棟 企画経済委員会室
3 出席者	委員 委員長 田中勝士 副委員長 若井敦子 藤墳 守 村下貴夫 水野正敏 渡辺嘉山 森 治久
	執行部 別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐 久富英材 主事 山辺有紗

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 都市公園の管理・運営について	

6 議事録（要点筆記）

○田中勝士委員長

それでは、ただいまから土木委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るために開催したものであり、「都市公園の管理・運営について」を議題とし、特に世界淡水魚園と養老公園について、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶：湯澤都市公園整備局長）

（執行部説明：金武都市公園課長）

（説明：世界淡水魚園水族館 野田支配人）

（説明：有限会社ジー・エフ・エー 織田代表取締役社長）

○田中勝士委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○藤墳 守委員

魚種によって寿命は異なると思うが、一番長生きしている魚は何か。

○池谷世界淡水魚園水族館長兼展示飼育部ゼネラルキュレーター

メコンオオナマズである。

○藤墳 守委員

赤字の場合に県から補償することは理解できるが、内部留保があるのに9月補正予算で指定管理料を補償した理由は何か。

○金武都市公園課長

今回はコロナウイルス感染症の影響による減収について損失補填をしたもの。この内部留保は、今後の赤字に備えた蓄えであるとともに、積極的な投資の裏付けとして必要な資金である。

現時点の内部留保は約6億5千万円であるが、当初計画では10億円を想定しており、計画を下回っている。

○藤墳 守委員

利益が出ているのに、補償する必要があったのか。

○金武都市公園課長

指定管理者と県との契約では、経済事情の変化又は災害の発生により必要がある場合に、県営公園指定管理者評価員会議の審議を経て、損失補償の可否を判断することになっている。今回は審議の結果、やむを得ないという評価があり、損失補償をするに至った。

○藤墳 守委員

やむを得ないという理由は何か。

○金武都市公園課長

現時点で約10億円を見込んでいた内部留保が6億5千万円程度にとどまっていること、内部留保があることにより次の投資へつなげることができること、が理由である。内部留保を使い果たすと、集客のための積極的な投資の意欲が損なわれ、結果的に入館者が減って収入が減り、投資意欲が下がるという悪循環に陥る懸念がある。

○藤墳 守委員

水族館において産まれた魚はどうしているのか。

- 池谷世界淡水魚園水族館長兼展示飼育部ゼネラルキュレーター
次の展示のために、しっかりと管理してバックヤードで飼育をしている。
- 藤墳 守委員
産まれた魚を売ることはないのか。
- 池谷世界淡水魚園水族館長兼展示飼育部ゼネラルキュレーター
これまで同等の魚と交換したことはあるが、売却したことはない。当館で扱っているのは希少種がほとんどであり、金銭的な価値に換算できない。希少種なので産まれた個体はしっかりと育てて種の保存につなげている
- 村下貴夫委員
建物リース料の支払いが完了した時点で県に無償譲渡とあるが、建物リース期間の30年でどの程度劣化するのか。
- 金武都市公園課長
引き渡し後も長期にわたって、水族館として運営できる状態ということが契約上明記されている。
- 村下貴夫委員
30年後の取り扱いはどうするか、何か計画はあるのか。
- 金武都市公園課長
計画は未定であるが、県有財産となることから指定管理業務になじむ。建物の維持管理・運営を一括で指定管理者にお願いする形が考えられる。
- 村下貴夫委員
30年間の契約期間となった理由は何か。
- 金武都市公園課長
一定の収益と建物の維持管理等を総合的に考慮して、当時のジー・エフ・エーの筆頭株主である三菱商事からの提案があり、協議の過程で決まったものと承知している。
- 森 治久委員
一般的に10年に1回程度大規模修繕を行うが、30年の契約期間ということは3度目の大規模修繕の後で、県に建物の所有権が無償譲渡されるのか。
- 織田有限会社ジー・エフ・エー代表取締役社長
ご指摘のとおり。事業終了の30年目を目途に必要な大規模修繕を行ったうえで引き渡すことになる。適切な形で長期利用ができるよう修繕をしたうえで引き渡す予定。
- 水野正敏委員
入館者のうち外国人の割合はどれくらいか。インバウンドの影響はどの程度だったのか。
- 野田世界淡水魚園水族館支配人
今まで外国人の入館者に占める割合はほぼなかったため、インバウンドの影響はないと考えている。
- 若井敦子副委員長
屋内施設であることから、入場制限が必要となる状況がしばらく続くと思うが、入館者を増やす取組みを何か検討しているか。
- 金武都市公園課長
行動指針に基づき、定員の50%以内の入館とするよう県として指導しているが、最近ではこの入場制限上限に近い入館者があり、対前年の80%程度まで回復してきた。コロナ禍においては、積極的な集客対策は難しいと考えるが、コロナ終息後、V字回復ができるよう、現在しっかりと準備を進めているところ。
- 渡辺嘉山委員
今年度は9月補正予算で損失補償したが、来年度もまた損失補償はあり得るのか。

○金武都市公園課長

県の入館規制指示が減収に相当の因果関係があることから、何らかの県の支援が必要な可能性があると考えている。この場合、指定管理者には徹底した経費削減を求めるつもり。

○渡辺嘉山委員

一律に厳しい経費削減ではなく、従業員の人件費等には配慮しながら指導していただきたい。

○田中勝士委員長

水族館は単なるレクリエーション施設という意味合いのほかに、魚類の繁殖や絶滅危惧種の保護など学術的にも大変重要な役割を担っていると聞いている。

○池谷世界淡水魚園水族館長兼展示飼育部ゼネラルキュレーター

例えば、濃尾平野に生息している天然記念物のイタセンパラについては、当館で10年間、継代飼育を行い、一昨年、木曾川に放流することができた。国土交通省や環境省と連携しながら濃尾平野の自然を守る事業を進めており、今後も継続していく。

○田中勝士委員長

県営水族館で、岐阜県の自然環境や水系、生物の多様性などを保全する役割を担って取り組んでいることを県民にもっと知っていただく必要があると思うが、これらの情報発信には取り組んでいるのか。

○金武都市公園課長

今後、ご指摘の役割にもスポットを当てたPRに努めていく。

○藤墳 守委員

生き物を飼育することは大変な苦労があると思うが、どのような苦労があるのか。

○池谷世界淡水魚園水族館長兼展示飼育部ゼネラルキュレーター

メコンオオナマズやイタセンパラの餌は藻で、時折種類を変えている。また、動物性の餌を食べる魚には、それらの魚が本来食べる餌を用意するなど、絶えず健康状態に気を付けて飼育している。

○田中勝士委員長

質疑も尽きたようなので、次に「養老公園」について執行部からの説明を求める。

(執行部説明：金武都市公園課長)

(説明：イビデングリーンテック株式会社 大月中西部支店副支店長)

(説明：養老公園事務所 山田所長)

○田中勝士委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○藤墳 守委員

来園者数はどのようにカウントしているのか。

○山田養老公園事務所長

駐車台数に係数をかけてカウントしている。推計値である。

○藤墳 守委員

以前、関ヶ原と養老公園の間でバスを運行したことがあったが、利用者はどの程度であったか。

○金武都市公園課長

運行日数44日間で865名の利用があった。

○藤墳 守委員

養老の滝まで登っていくのは何名ほどいるのか。

○金武都市公園課長

滝まで登る観光客についてはカウントしていない。

- 村下貴夫委員
養老公園盆踊りの集客実績はどのくらいか。
- 山田養老公園事務所長
平成30年度は約600人、令和元年度は約1,200人の集客があった。
- 村下貴夫委員
養老公園満喫キャンペーンの集客実績はどのくらいか。
- 山田養老公園事務所長
約3,000人の集客があった。
- 村下貴夫委員
養老改元1300年祭と開園140周年イベントの実績を検証し、県営公園100周年に向け、これを生かした活性化策を検討してほしい。
- 金武都市公園課長
平成29年の養老改元1300年祭で、その後の来園者の増加につながり、開園140周年記念イベントで、コロナで減った来園者を一気に取り戻すなど、養老公園で開催するイベントは効果があると認識しているので、これまでのイベントでの人気コンテンツのレガシーを引き継ぎつつ、県営公園100周年を迎える際は遊具や養老天命反転地のリニューアルなどが完了するタイミングであることから、何らかのイベントを開催し活性化を図りたいと考えている。
- 藤墳 守委員
桜の名所は他にもたくさんあることから、紅葉を充実させてはどうか。
- 金武都市公園課長
地元や利用者のご期待も踏まえつつ、植栽を進めていきたい。
- 藤墳 守委員
養老鉄道を利用する来園者はどのくらいか。
- 山田養老公園事務所長
平成29年度は4.0%、平成30年度は4.5%、令和元年度は10.5%である。
- 村下貴夫委員
養老鉄道を利用して来園者を増やす方策はないか。
- 山田養老公園事務所長
養老公園満喫キャンペーンのほか、神戸町のバラの里や海津市の海津温泉施設と連携して、養老鉄道の沿線施設を回る事業を行っている。
また、令和2年10月から令和3年3月まで、養老鉄道・養老町観光協会と連携して「養老公園お出かけクーポン」を販売している。このクーポンは大垣駅から養老駅までの往復切符に養老町観光協会加盟店で使用できる500円の商品券2枚、養老天命反転地の無料入場券が付いたものである。
- 藤墳 守委員
人口減少社会において、入場者数のみで成果を表すのは意味がないと思う。
- 若井敦子副委員長
収益性の低いパークゴルフ場とキャンプセンターについては今後どのような方針を考えているのか。
- 金武都市公園課長
パークPFIなどの制度を活用した民間資金の導入を含めて検討していく。また、指定管理者の更新時期を迎えることから、選定の際、指定管理者からの提案も踏まえながら、魅力的な施設にリニューアルしたいと考えている。
- 田中勝士委員長
滝谷沿いのお店の所有者は誰か。

○金武都市公園課長

滝谷沿いの土産物屋や旅館は、設置許可を取った民間の方々に運営してもらっている。

○田中勝士委員長

新しいお店などを設置することはできるのか。

○金武都市公園課長

申請があればその都度、公園施設として妥当であるか等を検討し、必要と判断した施設については設置を認める。

○田中勝士委員長

10月上旬に養老公園へ行って、かなりの人出があったが、人出に対して飲食するスペース等が足りていないと感じた。飲食する場などがもっとあれば、魅力的な観光地となり、賑わいづくりもできると感じたが、何か方策を検討しているのか。

○金武都市公園課長

長くこの地で営んでいる方々からは、現時点で積極的に新たな店を認めてほしいという声はない。

○田中勝士委員長

駐車場には何台駐車できるのか。

○金武都市公園課長

約1,000台である。さらに現在は養老地区交通安全協会が運営している約200台の駐車場についても、令和3年度より県が運営することから、合計で約1,200台となる。

○田中勝士委員長

来園者のほとんどがマイカー利用という前提で考えれば、駐車台数を増やせば、さらに来園者が増えるのではないかと思う。

○田中勝士委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって「都市公園の管理・運営について」に関する質疑を終了する。何か意見等はないか。また、執行部はいかがか。

(発言する者なし)

○田中勝士委員長

ご意見もないようなので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

土木委員会
委員長

土木委員会配席図

廊 下 側

	林 都市公園企画監		小池 花フエスタ記念公園 企画推進室長				日本管財(株) 五十嵐 中部本部課長	
	(株) イビディンググリーンテック 大月 中西部支店支店長	養老公園事務所 山田 養老公園事務所長		世界淡水魚園水族館 野田 支配人	池谷 館長兼飼育展示部 ゼネラル キュレーター		(有) ジィ・エフ・エー 織田 代表取締役社長	鹿島建設(株) 小澤 中部支店建築部 設備工事管理ク ループ次長
	金武 都市公園課長		湯澤 都市公園整備局長				杉下 都市公園整備局 副局長	

水野(正)委員

渡辺委員

○

○

○

○

○

○

○

森(治)委員

村下委員

藤埴委員

若井副委員長

田中委員長